

次世代人材育成事業 ワークショップ運営業務委託に係る質問への回答(5月25日時点)

令和 8 年 5 月 28 日  
新潟市産業振興財団

以下のとおり回答します

No.	質問事項	回答
1	<p>【参加者について】</p> <p>「原則として1社あたり2～3名のチームでの参加を基本とする」と定められているが、提案するプログラム内容としては複数人参加を前提とすることが望ましいか。</p> <p>自社での実装を目標とすると、ある程度決裁権を持つ参加者を想定していると思うが、会社の規模によっては決裁権を持つものが複数人在籍しない場合もある。その場合は、決裁権を持つ者のみの出席でもよいのか。それとも現場を知る若手と一緒に複数人での参加が望ましいのか。</p> <p>&lt;資料2 業務委託仕様書 6 参加ターゲット・参加方法&gt;</p>	<p>複数人数の参加を前提としているが、決裁権の有無に関わらず、個人での学びを希望する方やお一人での参加を希望する方もいるものと想定しているため、そうした方たちも参加可能なプログラム内容としてください。</p> <p>本事業の特性上、必ずしも決裁権者の参加を想定しているものではなく、各企業(団体)から複数名参加していただくことにより、人材育成と自社への実装という目標を達成したいと考えています。</p> <p>また、参加者の構成についても、決裁権者や実際に作業する方などに限定する者でなく、各社(団体)の状況や考え方で構わないと考えています。</p>
2	<p>【最終目標の参加企業数について】</p> <p>成果指標の「本事業によりデータを基に意思決定ができ、実際に自社に持ち帰って実装・自走できる状態の参加企業数」の目標数値「5 社以上」と定められているが、この際の5者はプログラム内で何らかの方法で選抜することを想定しているか。</p> <p>&lt;資料2 業務委託仕様書 7 成果指標&gt;</p>	<p>選抜することは想定していません。</p> <p>可能であれば、参加した企業(団体)の全員が左記の成果を達成することが望ましいですが、参加企業(団体)の事情により実装する段階までは難しいケースや最後まで参加することが難しくなるケースなどもあることから、最低水準の目標として、「5 社以上」と設定しています。</p>
3	<p>【最終目標の参加企業数について】</p> <p>成果指標の「本事業によりデータを基に意思決定ができ、実際に自社に持ち帰って実装・自走できる状態の参加企業数」の「実装・自走できる状態」とはどういった状態を想定しているか。</p> <p>&lt;資料2 業務委託仕様書 7 成果指標&gt;</p>	<p>伴走支援で目標としている実装・自走できる状態とは、ワークショップを通じて一般的な AI の使い方を習得することではなく、「5 業務内容」にある参加者がデータ分析による意思決定の行程において、AI ツール を適切に取り扱い、<u>自社の状況に応じた効果的な判断</u>ができるようになっている状態を指しています。本事業では、そうした自社での意思決定に AI の効果的な活用を検討できる人材を育成することを目標としています。</p>

4	<p>【プレゼンテーション審査について】</p> <p>「③ プレゼンテーション審査の出席者は統括責任者を含め最大 3 名までとする。」となっているが、そのうち、1名をオンライン参加とすることも可能でしょうか。</p> <p>＜資料1公募型プロポーザル実施要領 8(2)選定方法＞</p>	<p>プレゼンテーション審査につきまして、オンライン参加も可能ですが、必ず1名以上は会場にてご参加いただき、提案内容の説明や審査員の質問に対して回答できるようにしてください。なお、オンライン参加の場合の機器や通信環境など、必要な準備については、参加者の責任において実施していただきます。</p> <p>選定委員会当日の詳細(日時・会場など)につきましては、参加表明の締め切り後、事務局よりご案内予定です。</p>